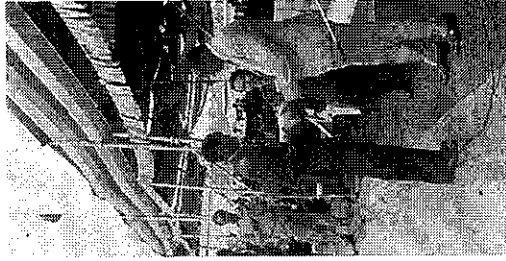


裁されたのです。英国  
軍出身のアミン氏が「主



稼働10年目でようやく機工場の正式な開閉式を  
開き、アミン大統領（右端）を迎えた（1976  
年、本は右から2人）

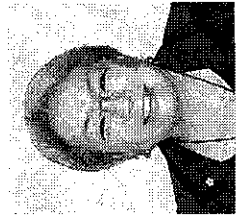
(BBC) のラジオを聞  
いていると「カンパラが  
随分、UG  
Iが略奪  
にあつた  
という。心  
配でたまら  
なくなり、  
軽飛行機を  
チャーター  
してカンパ  
ラに戻る」

■アミン氏から大  
す。アミン氏に働きかけ  
て知人を秘密警察から  
守つたことがあつたから  
かもしれません。  
略奪された工場を見  
て撤退を真剣に考え  
た。しかし、善跡が  
起き、相田さんは八  
〇年一月に工場を復  
活させた。  
ナイロビに戻った後  
ヤマトの驍将康次・二代

海外人脈づくりを支援す  
。外国での経験が豊富な  
女性が女性の国際ネットワ  
ークを日本につなぐ橋渡し  
役として活躍している。  
六月五日、ベトナムのハ  
ノイで幕を開ける「グロー  
バル・サミット・オブ・ウ  
イメン」の日本事務局を務

# 波頭 旗頭

めるのが、佐渡安氏(60)  
だ。各国の政官財の女性リ  
ーダーが集まる同サミット  
は毎年大陸持ち回りで開  
催。十八回目を迎える今年  
は七十数カ国・地域から約  
八百五十人が参加を予定し  
ている。モザンビークのル  
イサ・アイオゴ首相が



GEWEL  
副代表理事  
佐渡安氏

基調講演するほか、女性最  
高経営責任者(CEO)や  
起業家のフォーラムなどが  
三日間にわたり開かれ、国  
境を越えて女性が直面する  
問題を話し合う。  
佐渡氏は日系米国人で、  
外資系企業を経て現在、女  
性リーダーの育成を支援す  
るNPO法人GEWELの  
副代表理事を務める。同サ  
ミット主催団体代表の米国  
人アイリーン・ナティビ  
ダッド氏と佐渡氏の夫が同  
級生だったことから、日本

## 女性サミット 世話人に

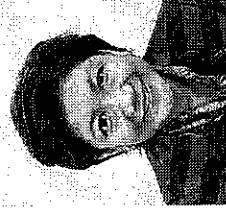
側の世界人を引き受ける」  
とになった。  
日本企業の男性幹部にも  
サミットに出席するよう働  
きかける。「日本社会が海  
外に比べて、いかに女性の  
力を生かしていないか、サ  
ミットで感じてほしい」  
ベルリッソインタナシ  
ヨナル会長兼CEO兼社長  
の内永ゆか子氏(61)は今  
年も同サミットに参加す  
る。前職の日本IBM時代に  
代表から突然招待メール  
が届いたのがきっかけとな



GEWEL  
理事  
内永ゆか子氏

## エンジニアの支援も

「海外の政治家と知  
り合えたこともあり、国を  
超えてネットワークを広げ  
る場として素晴らしい」  
内永氏自身、豊富な海外  
人脈を生かして、橋渡し役  
を務める。昨年、米国の非  
営利組織カリストと姉妹  
提携し、NPO法人J-W  
iE(ジャパン・ウイメン  
ズ・インベイティブ・ネッ  
トワーク)を立ち上げ、理  
事長に就任した。今年、米  
国の技術系女性の会ソサイ  
ティ・オブ・ウイメン・エ  
ンジニア(SWE)との協  
力を深め、技術系女性を支  
援するプログラムを導入し  
たいという。



FOLMA社長  
芹沢ゆう氏

## 経済会議 大学生派遣へ

女性版ダボス会議と呼  
れるのが「ウイメンズ・フ  
ォーラム」(経済と社会の  
ための女性フォーラム)本  
部フランス。世界経済フ  
ォーラム(ダボス会議)の  
元専務理事らが〇五年に始  
めたもので、フランスのリ  
ゾット地トリビルで毎年十  
月に開かれる。女性の観点  
を政治経済に反映させるこ  
とを目的に、各国の企業  
経営幹部や政治家ら七百  
人以上が集まる。  
この国際諮問委員を務め  
るのが、国際会議の企画運  
営会社フオルマ(東京)社  
長の芹沢ゆう氏(49)だ。  
フランス語圏で育った語学  
力を生かして、数々の国際  
会議を手掛けてきた。今秋  
も、女性大臣から送る大  
学生までフランスに送りた  
いという。  
(編集委員 野村浩子)

フオルマは経済と社会と「ウイメンズ・フ  
ォーラム」を主催する。今年一月、  
シンガポールで三六  
年間すしを握り、五月末、  
駐シンガポール日本大使  
から表彰された。生魚に



フオルマ

野川 義夫氏

見向きもしなかった熱帯  
の国で和食普及の礎を築  
いた。後進国にも努め、  
タイやオーストラリアな  
どで活躍する数字は三十  
人を超える。  
海外で働きたいと予  
一本と八万円を握りしめ  
のとき、ネタの空輸など  
ない時代。熱帯のアジヤ  
イカを王夫して握ると  
日本人駐在員らに大変  
きや  
魚の  
めじ  
した  
シン  
に。舞

## 熱帯で和食普及の礎築く

タイやオーストラリアな  
け。中東やインドから遠  
路食べに来る客もいた。  
り・クアンエト首相  
相やナザン大統領、シン  
ガポールを訪れる日本の



しろひこまん 住

最近、日本人はもう歐  
目だなどおもうことがあ  
る。一つには本を讀むこ  
どもたちが少なくなつて  
きた。本を讀む暇があつ  
たら、勉強しなさいとい  
う時代だ。生きるために  
は書物に親おほつてい  
いはずなのに、彼らには  
その機会が与えられてい  
ない。机上の「勉強」だ  
ければ、世の中を渡れ  
るという幻想を、多くの  
人たちが本当の幻想とし  
て握っていない。  
また社会の道徳観も乱  
れてきた。人の命も軽ん  
じられ、毎日のように凶  
悪な事件が報道されてい  
る。誰もが緊張していな  
けれ  
てき  
乱れ  
なる  
だし  
ぐは  
政  
の政  
く委  
るま  
えあ  
年費  
す願  
法律  
なく  
社会  
政黨  
いか  
驚  
わた

## 「ジャパン・ドリーム」もほどほどに